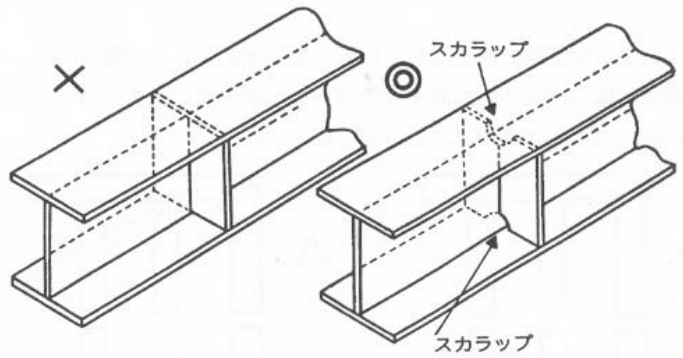
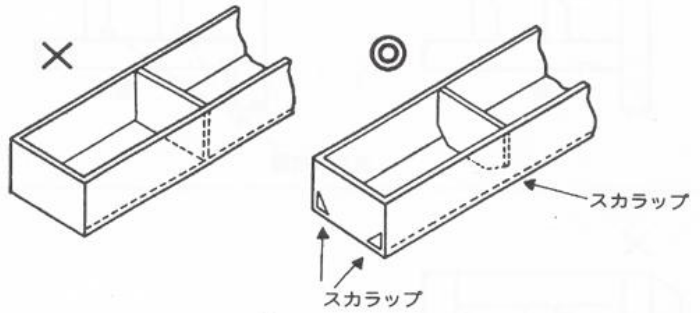


スカラップの取り方

形鋼による加工品の場合などにはその組み合わせや、補強材の位置等の関係で部分的に袋状になったり箱状になったりする箇所が生じます。



そのままでは、空気だまりを生じて不めっきになったり、また垂鉛の出口がないため垂鉛だまりが生じたりします。



このようなことを防ぎ、良好なめっき外観を得るためには、右図にあるような位置にスカラップや、適当なすき間をとることが必要です。

